

口腔病理専門医講習会（細胞診）

口腔細胞診 – 「組織像をベースに細胞をみる」から「細胞像からの組織構築」–

Oral cytology – “Cytology based on histological features” to “histological structure from cytological appearance” –

松坂 賢一 Kenichi Matsuzaka

東京歯科大学病理学講座

Department of Pathology, Tokyo Dental College

細胞診は採取部位の組織構築を完全に反映しているわけではないため、口腔病理医をめざすものが細胞診を判定する際に、細胞像から組織像を想像する必要があるだろう。病変の組織形態のどの部位から細胞が採取されているのかを理解することは、口腔病理医が細胞診を学ぶ第一歩である。次のステップでは、細胞の形態から未知の組織像を頭の中で推定して構築する作業に入る。これが日常の細胞診業務であると言える。本講習会では、細胞診の基本的事項と口腔粘膜疾患の擦過細胞診や唾液腺穿刺吸引細胞診の典型的な細胞像を提示し、組織像への構築の一助となるべく解説する。

Cytological appearance rarely reflects the tissue construction completely, therefore oral pathologists have to image the histological construction from cytological appearance. The first step for oral pathologists to learn cytology is to fully understand which cells in which part of the lesion is gathered. For the next step, oral pathologists presume unknown lesions' tissue construction from cytological appearance. I will explain the basic matter of cytological diagnosis, and show basic cytological appearances such as oral epithelial lesions and salivary gland tumors, and then hope to help you better visualize the image in constructing histology from its cytological appearance.

【略歴】

1990 年 東京歯科大学卒業

1994 年 東京歯科大学大学院歯学研究科（解剖学専攻）修了

1994 年 東京歯科大学病理学講座助手

1999 年 東京歯科大学病理学講座講師

2001 年 臨床検査学研究室へ配置替

2004 年 東京歯科大学臨床検査学研究室助教授（2007 年 准教授へ名称変更）

2011 年 臨床検査病理学講座へ配置換

2015 年 東京歯科大学臨床検査病理学講座教授

2020 年 東京歯科大学病理学講座教授

(2001 年日本病理学会認定口腔病理専門医、2012 年口腔病理専門医研修指導医、2013 年日本口腔検査学会認定医、2014 年日本臨床細胞学会口腔細胞診専門医)